![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　令和元年１１月号（20191115）　　　　　　　　　　　　　　　園長　平澤　正則

‘ハロウィン’の悩み

　何に悩んでいるのかというと，金がかかりすぎているのではないか。それだけの衣装代があればもっと別な活動をした方がいいのではないか，ということです。

　本園でハロウィンパーティを始めたのは2年前の平成29年度でした。実施の経緯としては，それまでの何年もの間‘英語活動’（マリー・帖佐先生…毎週1回程度実施，現在も）において子どもたちが仮装を楽しんでいた状況があり，その流れで始めたものでした。2年前の初回終了後には全保護者にアンケートを実施し，以下の４点について４択で意見をお聞きしました。１．仮装衣装準備はいかがでしたか。[良かった～つまらなかった]２．お子様は仮装に対していかがでしたか。[楽しんだ～つまらなかった]３．来年度もご家庭で仮装衣装準備をしてもらうことにしてよいか。[よい～家庭での用意はない方がよい]４．仮装衣装準備にはいくら支出しましたか。[金額]。当時の４番の回答では，1,500円～3,000円程度が多く，最高が5,000円（1人）次が4,500円（1人）で，500円以内の方も3割以上いました。それらのことも踏まえて始めたことなのですが，家庭によっては毎年衣装を更新するため3年間で1万円以上になるなどの声も聞こえてきました。

　確かに，子どもたちは『Trick or treat（トリック・オア・トリート）』と言いながらまわりの先生方からお菓子（今年はうまい棒）をもらうなど，日常とは違う異文化の遊び体験を先生と一緒に楽しんでもいますから無意味だとかくだらないなどと言うつもりはないのですが，それほどに金を掛けてまで毎年やる程の教育的意義があるのかなと迷います。

　数ある活動の中で何をとるかという時，まず考えなくてはならないのが‘教育的意義’についてです。結果からみればそんな小難しいことを言わなくても大丈夫だったでしょうで終わるものもあるのですが，初めから『楽しければいいや』では無責任といえます。そこで，何をとるかですが，例えば，6万円あれば小さな人形劇団を呼ぶことができます。これは子ども一人当り1,200円（60,000円÷50人）です。10万円あれば小さな劇団も呼べます。一人当り2,000円です。両方呼んでも3,200円です。音楽の演奏を聴くのもいいなあと思います。とにかく，生の演奏，生の演劇等を聴く，見る体験は子どもたちの感性に強く働きかけるものがあり，有意義です。

　勝手な想像ですが，『今度演劇を見るので1,000円徴収します。』という手紙を持たされたとしましょう。どうでしょうか，納得して快く出していただけますか。『いや～，なんで今年はそんなにかかるの？』などとならないか。そんな心配が先にたち，簡単には切り出せません。

　また，衣装を買わないで済む方法はないかと考えたら，卒園時に寄付してもらうという良い方法を教えてくれる人がいました。何人分集まるかはわかりませんが，あるいはお古は嫌ですという人もいるかもしれませんが，それでもいいという人には役立つでしょう。

以上のような訳で，今年は皆さんに意見を聴きたいと思い，毎年行う別紙の保護者アンケートにその質問を用意しました。皆さんの考えを参考にしながら来年度以降のことを決めたいと思います。何年も先のことまで考えながら，まわりの人と相談するなどしながらお答えください。しかしながら，聞く前から言うのもなんですが，50人に聞けば50通りの考えがあるものですから，最終的な判断は園にお任せください。もちろん，アンケート結果は公表しますし，徴収金額の変更を保護者に問うこともなしに行うことはありません。子どもにかける費用はできるだけ最良のものとなるよう今後とも考えていきたいと思いますので，よろしくご協力をお願いいたします。